

デロイト トーマツ TMAC 株式会社

貸借対照表

2024年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>324,340</b>	<b>流動負債</b>	<b>135,165</b>
現金及び預金	324,199	未払金	4,336
その他	141	短期借入金	50,000
		未払法人税等	24,572
		未払消費税等	40,727
		賞与引当金	15,528
		<b>負債合計</b>	<b>135,165</b>
		<b>純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>189,175</b>
		資本金	67,500
		資本剰余金	7,500
		資本準備金	7,500
		<b>利益剰余金</b>	<b>114,175</b>
		利益準備金	12,645
		その他利益剰余金	101,530
		繰越利益剰余金	101,530
		<b>純資産合計</b>	<b>189,175</b>
<b>資産合計</b>	<b>324,340</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>324,340</b>

(注1):千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2):当期純利益 308,963 千円

# 個別注記表

自 2023年6月1日  
至 2024年5月31日

## I 重要な会計方針

### 1. 引当金の計上基準

#### (1) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当該事業年度に負担すべき金額を計上しております。

#### (2) 退職給付引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当事業年度末における退職慰労金の支給見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

### 2. 収益及び費用の計上基準

主要業務であるアドバイザー業務・調査業務については、当該業務の提供に応じて、一定の期間にわたり履行義務が充足される取引と判断しており、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。

また、成功報酬型契約については、顧客との契約に規定された一定の条件を満たすことにより顧客に請求が可能となった時点で収益を認識しております。

## II 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 (株)	増加 (株)	減少 (株)	当事業年度末 (株)
普通株式	970	0	0	970

(変動の概要)

該当ありません。

## III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。